

皆さま、こんにちは。2025 年 1 月のレポートをお届けします。

### **Social Impact Lab：南アフリカでのコンサルティングプロジェクト**

2024 年 12 月～2025 年 1 月末は、選択式のラボの期間となっています。Tech Lab や Startup Lab、Social Impact Lab など複数の選択肢がある中で、私は Social Impact Lab を選択しました。このラボは、南アフリカの貧困や環境問題・教育といった Social Impact Sector での社会課題解決に取り組む NPO などの組織に対して、5 週間で課題解決を行うコンサルティングプログラムです。私は南アフリカで若年層のスキル向上・雇用促進をサポートするソーシャルエンタープライズとパートナーを組み、MBA のクラスメイトと 2 名でプロジェクトに取り組みました。

2024 年 12 月はスペインからのデスクリサーチを中心に行い、2025 年 1 月 10 日～1 月末まで約 3 週間南アフリカへ赴き、調査・フィールドワークを実施してきました。南アフリカは、所得格差を表すジニ係数が世界で最も高く国内での経済格差が非常に大きな国家です。アパルトヘイトの廃止から 30 年が経った今でも至るところに経済・教育・機会格差が残っており、若者（18～35 歳）の失業率は約 50%とされています。そのため、この若年層の雇用促進に取り組むことは容易ではなく、私たちのプロジェクトにおいても南アフリカ独自の歴史や政治などのコンテキストを理解する必要があり、この点において非常に難易度が高いものとなりました。リソースが限られている中で、できる限り現地でのインタビューを行い、リアルな課題と背景の理解、リサーチを重ねました。最終的にはパートナー組織に納得いただける実現可能性の高い戦略を提案することができました。

この経験を通じて、南アフリカという日本やヨーロッパとは文化も歴史も異なる環境で、どのように課題設定をし、リサーチ・フィールドワークを通じて提案まで至るか、非常に貴重なプロジェクト経験となりました。

### **南アフリカで歴史的博物館やサファリを訪れる**

南アフリカでプロジェクトに取り組む一方で、アパルトヘイトミュージアムや黒人専用の居住区として指定されたタウンシップのひとつソウェト地区、社会課題に取り組む企業や NPO への訪問、またサファリツアーとして国立公園へ訪れるなど様々なアクティビティにも参加しました。

中でも、アパルトヘイトミュージアムは当時の人種隔離政策に関する多くの資料や写真が展示されており、負の歴史やネルソン・マンデラの生涯、民主主義国家としての時代の幕開けなどについて考える機会となりました。またソウェト地区を始めとするタウンシップは、今なお南アフリカの経済格差を顕著に表しており、現地でリアルに触れることができ貴重な経験となりました。



Visiting Township and NPO in South Africa



The Stunning Nature in South Africa